

長浜北小学校からの報告

水生生物調査結果

調査場所名 (No.)		緑橋付近 No.1	長浜北小学校北西側 No.2	緑橋付近 No.3										
月	日 時 刻	6月5日 15時00分	6月12日 15時00分	6月19日 15時00分										
天	気	晴れ	晴れ	晴れ										
水	温 (°C)	19.0 °C	19.0 °C	22.0 °C										
気	温 (°C)	23.0 °C	23.0 °C	25.0 °C										
川	幅 (m)	3.0 m	1.5 m	3.0 m										
河	川 名	大井川	大井川	大井川										
生	物を採取した場所	全面	全面	全面										
水	深 (cm)	30.0 cm	10.0 cm	30.0 cm										
流	速 (cm / s)	45.0 cm/s	30.0 cm/s	45.0 cm/s										
水	のようす	指標生物												
I きれい	1	カワゲラ類												
	2	ナガレビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類	○											
	3	ヒラタケロウ類	○											
	4	ブユ類												
	5	ヘビトンボ類		○										
	6	カガンボ類												
	7	サワガニ	○		○									
I・II 共通	8	ウスムシ類												
	9	2以外のトビケラ類	●	●	●									
	10	3、14以外のカゲロウ類		○	○									
II 少しよごれている	11	ヒラ外ロムシ類												
	12	ジジミ類												
II・III 共通	13	カワニナ	○	○	○									
III よごれている	14	サホコカゲロウ												
	15	ヒル類	○	○										
	16	ミスムシ			○									
	17	モノアラガイ												
III・IV 共通	18	サカマキガイ												
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ												
	20	イトミス類			○									
	21	ハナアブ類												
水 質 判 定 表	水のようすの区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)	4	2	2	0	3	3	2	0	3	3	2	1
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0
	合 計 (1欄+2欄)		5	3	2	0	4	4	2	0	4	4	2	1
判定結果(合計が最も大きい区分)		I				I・II				I・II				

活動について

長浜北小学校では、「川探検クラブ」として、みずすまし活動を行っています。今年度から、クラブ名を一新し、児童にとって親しみやすいように「探検」という言葉を使用しました。

平成 29 年度は、4 年生 7 名、5 年生 5 名の合計 12 名の隊員で活動を行いました。今年のクラブには、6 年生の所属がなく、昨年にも同じクラブに所属していた 5 年生を中心に活動を行いました。始めは、6 年生がいなくて不安が大きかったようですが、活動を進めて行くにつれ、自信を持って取り組むことができたようです。

長浜北小学校「川探検クラブ」が主に活動を行ったのは、学校のすぐ目の前を流れる「大井川」です。クラブ活動の時間に、指標生物の採取を行い、一年間を通して大井川の季節の変化やそこにすむ生き物の変容を観察してきました。

大井川周辺の水辺も同じような生き物がいるのか、という児童の疑問から、校内にあるビオトープ「ひょうたん池」やプレイルームの池、いつも観察している大井川を少し遡った辺り、大井川の支流、秋の濁ったプールの水などの観察も行いました。

今年度は、長浜市内の小学校により予定されていた水生生物調査発表会のための発表資料づくりや全校に水生生物について知ってもらうための発表など、水生生物の魅力を伝えていくことにも力を入れてきました。特に、次年度、川探検クラブをさらに盛り上げていくために、4 年生へのクラブ紹介には、メンバー全員で発表を考えました。図書室で調べた内容をクイズ形式にしたり、イラストを描いて水生生物を紹介したり、実際のプールの水と大井川の水を見比べてもらったりしました。4 年生が一番興味を持って見てくれたのが、大井川で実際にとった魚の展示でした。1 匹しか展示できませんでしたが、大きな魚にみんな驚いた様子でした。



ひょうたん池



北小北西の大井川支流



プレイルームの池

水生生物調査を実際にやってみて

以下の内容は、1学期に実施した水生生物調査の時の、児童の感想をまとめました。

【6月5日 大井川 での記録】

- はじめての調査だったけど、たくさん水生生物がとれてうれしかった。
- 去年も参加して、捕まえるコツが分かっていたので、たくさん捕まえられたと思いました。
- 水に入ることができなかったけど、水生生物がたくさんみられてよかった。
- 水生生物は、変な形をしていて、ちょっと気持ち悪かった。

○ 天気	:	晴れ
○ 水温	:	19.0 度
○ 気温	:	23.0 度
○ 水深	:	約 30cm

【6月12日 大井川 長浜北小学校北西付近 での記録】

- 川の藻がたくさん過ぎて、こんなにたくさん水生生物がいるとは思わなかった。
- ひょうたん池にザリガニがいました。えさがたくさんあるんだと思います。
- ハゼやシマドジョウ、ミズカマキリなど水生生物以外の生き物もたくさんとれてうれしかった。
- ヒゲナガカワトビケラが40匹以上とれた。うじゃうじゃ動いて気持ち悪かった。

○ 天気	:	晴れ
○ 水温	:	20.0 度
○ 気温	:	23.0 度
○ 水深	:	約 10cm



【6月19日 大井川 での記録】

- 前の調査のときよりたくさんとれたので、捕まえ方が上手くなったと思う。
- 前より水生生物が多かった。暖かくなったから増えたのかもしれない。
- はじめてコアユがとれました。大井川にもコアユがいるのできれいな水なんだと思いました。
- コアユが死んでしまった。かわいそうなことをしてしまった。
- 汚い水にすんでいる水生生物がとれた。きれいな水の生き物が多いのに、汚い水の水生生物もいたので不思議だった。

○ 天気	:	晴れ
○ 水温	:	22.0 度
○ 気温	:	25.0 度
○ 水深	:	約 30cm



雨の日の活動

雨の日や、水深が深く川に入るのが危険な日には、近くの川や田んぼのプランクトンを顕微鏡で観察したり、スケッチをしたりしました。プランクトンなのか、草なのか、見分けがなかなかつかなくて困ったこともありましたが、動いている生き物を見つけてすごく嬉しそうにしていました。

また、雨の日には、寒くなってからのクラブ計画の見直しやクラブ見学の資料づくりをしました。どうすれば、川探検クラブの魅力が伝えられるか、内容を一生懸命考えていました。以下の文章は、児童が考えた、川探検クラブのアピール文です。

- 夏は、川で魚や水の中の小さな生き物を捕まえるのが楽しい。
- みんなで川に入るのが楽しい。冬は入れませんよ。
- 川に入り、魚をとるのがとても楽しいです。ぼくは、このクラブが一番好きです。
- 水生生物のことを何も知らなくても楽しいです。夏に水に入るのが、とても気持ちいいです。
- 生き物が触れない人でも大丈夫です。ピンセットを使って触るし、観察の仕方を教えてもらえます。
- 一人ひとりに役割があって、みんなが協力できる楽しいクラブです。

本校では、普段の遊びの中で、川に入って魚をとったり、ザリガニを手でつかんだりする経験が少ない児童が多いようです。夏に入る川の水の気持ちよさや川底の石についた藻のぬるぬる感などがとても新鮮な様子でした。また、身近な大井川にたくさんの生き物がすんでいること、コアユがいること、上から見ているより川の水がきれいなこと、実際に川に入ってみないと分からないことを知る体験ができることに喜びを感じているようでした。

クラブのメンバーは、その貴重な体験を全校のみんなにぜひ知ってほしいと、来年度のクラブに向けて、アピール文を考えていました。



これからできること

1年間、クラブ活動を通して、クラブメンバーの児童は、もっと水生生物や川探検について、みんなに知ってほしいと感じたようです。そこで、来年度の活動内容や常時みんなに知ってもらうための方法を考えました。以下は、児童が考えた来年度の活動計画です。

- 水生生物調査をしているときに、一緒に川掃除をする。
- 捕まえた水生生物や魚を水槽で飼って、みんなに紹介する。
- 水生生物や魚を何匹か飼って、成長の観察をする。
- 川に入れない日は、川の上から流れや水の観察をする。
- 大井川だけ出なくて、家の近くの川の観察や掃除をする。
- ゴミを少なくするために、「ポイ捨て禁止」、「川にゴミを捨てないで」のポスターをかく。
- 生き物がすみやすい環境づくりをする（学校のビオトープ）。
- 水生生物の質問コーナーをつくって、みんなの疑問に答えていく。

調査の結果、大井川はきれいな水と判断できました。しかし、児童の中では、「本当にきれいなのか。」という疑問があったようです。よく見ると、ペットボトルや空き缶、お菓子の袋などのゴミが落ちていて、汚いと言っていました。3回目の調査で「大変汚れている水」にすんでいる水生生物が採取できたとき、「大井川はやっぱり汚れてるん?」、「きれいにせなあかんな。」、「先生。ゴミも拾っていいですか。」と口にしていました。

まとめ

クラブメンバーの児童は、活動を通して、こんな身近にたくさんの生き物がいることに驚いていました。川で遊ぶ機会が少なくなった子どもたちにとって、今回の取組は、とても新鮮な活動になったようです。

図書室で水辺の生き物についての本を借りる子や、夏にはグラウンド内にある池で、生き物を観察する子、近所でとった魚を見せに来てくれる子、川掃除をしてその成果を見せてくれた子。クラ

ブ活動だけでなく、普段の生活から川について興味を持つ子が増えてきました。

そのおかげか、生き物の魅力や川の楽しさだけでなく、環境問題にも着目することができました。自然の大切さや命の尊さを学び、それを全校に発信しようとする児童の姿は、大人も見習うべき姿だと感じました。

来年度の川探検クラブでは、水生生物調査に加え、環境問題への取組や、自然の偉大さ、生き物の命についても学ぶことにできる総合的なクラブを目指していきたいと考えています。

